

平成30年度指定管理者制度活用事業 評価シート(こども文化センター)

1. 基本事項

施設名称	川崎区第3グループ(田島・浅田・小田)	評価対象年度	平成30年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	こども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H29		H30		H29		H30																		
	1 田島こども文化センター ①年間延べ利用者数	24,388人	20,777人	②年間延べ利用団体数	284人	267団体																			
2 渡田小学校わくわくプラザ ①登録者数	335人	348人	②年間延べ利用者数	21,884人	29,234人																				
1 浅田こども文化センター ①年間延べ利用者数	26,733人	28,374人	②年間延べ利用団体数	457団体	404団体																				
2 浅田小学校わくわくプラザ ①登録者数	121人	135人	②年間延べ利用者数	9,567人	9,895人																				
3 小田小学校わくわくプラザ ①登録者数	230人	208人	②年間延べ利用者数	14,788人	14,381人																				
1 小田こども文化センター ①年間延べ利用者数	16,540人	16,263人	②年間延べ利用団体数	176団体	124団体																				
2 新町小学校わくわくプラザ ①登録者数	156人	141人	②年間延べ利用者数	9,675人	9,654人																				
3 東小田小学校わくわくプラザ ①登録者数	123人	107人	②年間延べ利用者数	8,538人	8,304人																				
収支実績	<p>単位:円</p> <table border="1"> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>151,277,370</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>124,036,201</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>9,257,517</td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td>7,071,551</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>8,092,216</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>148,457,485</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td>2,819,885</td> </tr> </table>							1 収入		指定管理料	151,277,370	2 支出		人件費	124,036,201	管理費	9,257,517	事務経費	7,071,551	その他経費	8,092,216	合計	148,457,485	3 差引	2,819,885
1 収入																									
指定管理料	151,277,370																								
2 支出																									
人件費	124,036,201																								
管理費	9,257,517																								
事務経費	7,071,551																								
その他経費	8,092,216																								
合計	148,457,485																								
3 差引	2,819,885																								
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。																								

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「こども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成就が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全育成就が図られているか。			
(評価の理由) ・仕様書・事業計画に基づき、こども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。 ・浅田こども文化センターでは、対応に苦慮する中高生の利用にあたって、利用上のルールについて、職員間で対応方法を繰り返し検討し、また学校や警察と情報共有しながら対応にあたった結果、職員との関係も深まり中高生の居場所として改善している。 ・小田こども文化センターでは、遊戯室の机のレイアウトを工夫し、高校生が勉強しやすい環境を整えたことで高校生の居場所として改善している。 ・こうした取組の結果、高校生の利用者数が昨年度と比較し、約700人増加した。 ・その他の新たな取組として小田こども文化センターでは、「動物愛護教室」を開催、市の動物愛護センター職員を講師に、動物の福祉、動物の気持ちになることについてのワークショップを行い、小さな命の大切さを学ぶ機会となった。さらに、田島こども文化センターでは、乳幼児対象事業「びよカフェ」を毎月開催として、読み聞かせを行うだけでなく、地域の料理人の協力を得ておかし作り行事を併せて行い、乳幼児親子同士の交流に繋がった。					
サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	3	6
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	4	4
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	4	4
保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3	
(評価の理由) ・利用者ニーズについて、館に設置した意見箱の活用により、意見を集め、運営改善に努める他、子ども運営会議や、アンケート等により、利用者の意見を吸い上げるための仕組みが整っている。 ・特別な配慮を要する児童への対応については、養護教諭とのケース検討会を行い、児童が暴れてしまった際の対応方法・事前防止策について修得した結果、児童を落ち着ける場所に誘導し、スタッフが個別対応するなどの方策を実施することで、児童の処遇向上が図られた。 ・学校及び行政機関との連携については、幼児から小学生までの切れ目のない支援・情報共有を行うため、新たな連携先である小田さくら保育園と連携し「小田さくらあそびたい」事業を行い、地域交流・異年齢交流に繋がった。この取組は今後も継続予定である。 ・施設・事業の広報については、ホームページやおたより等多様な媒体を用いて、積極的な広報を行っているとともに、中学生向けや高校生向けたより定期的に発行し、近隣の町内会に配布・回覧、また中学校、高校に掲示するなどの工夫を行い、対象年齢を捉えた効果的な広報を行っている。 ・運営協議会の実施について、運営協議会が設置され、事業計画どおり開催されている他、小田こども文化センターでは、運営協議会で寄せられた意見をもとに、こども文化センターまわりの運営方法を工夫した結果、こども文化センターまわりの参加者が増え、地域とのつながりの強化が図られた。 ・保護者懇談会について、懇談会が事業計画どおり開催されている。					

組織管理 体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	4	8
職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。					
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。 ・職員の研修体制については、館内会議やスタッフ会議等において、研修を受講した職員がその知識を共有しているほか、研修資料やレポートをファイル等に一元化して管理し、職員が閲覧出来る等、共有化の仕組み作りが出来る。さらに田島こども文化センターでは、職員が市主催の研修に参加し感染症予防法を学び、内容をスタッフ会議等で各職員に周知することで、嘔吐物の処理が出来るようになるなど緊急時の対応法を覚え、職員の資質の向上が図られた。 ・個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。 					
適正な業務 実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策 及び 災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
		災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。 ・利用者の安全確保については、法人作成の各種マニュアルに沿って、事故防止対策や感染症予防対策等を適正に行っている。 ・防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとで作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。 					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。 					

4. 総合評価

評価点合計	69	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

市内20グループのこども文化センター及びわくわくプラザの指定管理を行うスケールメリットを活かし、効率的・効果的な事業運営を行っている他、全館・全区合同事業の実施、経験や役割に応じた計画的な研修実施によって職員の資質向上を図り、また研修内容・事故状況等の情報を全館で共有するなどにより、安定的で良質なサービス提供を行っている。

警察の協力を得て危険な場所の指導を受けたり、高齢者と話し合い高齢者が見やすい工夫を考えながら防災マップの作成に取り組むなど、地域防災活動を行っている。浅田こども文化センターでは、「地域もりあげ隊」として、商店街の方の協力を得てハロウィンの仮装パレードを行うなど地域に根差した活動を行っている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、学校、行政、地域の各団体が共に連携しながら地域づくりを進めることで、職員と子どもの顔の見える関係を築き、小中高生から高齢者まで、多世代にとって、居心地のよい場となるよう努めること。また、より一層利用者の安全を確保するために、他施設や類似施設等でのヒヤリハット事例等の検討を各施設単位で行い、対応策を立案し職員間で共有する等、さらなる安全確保の取組を行うことが望ましい。